

雑談力を強くする時事ネタ・キーワード(第25回)

脱・属人化。経理業務標準化の秘策

2023.06.30



企業や団体のさまざまな部門で、業務効率化は喫緊の課題になっている。コロナ禍からの経済回復により多くの業界で働き手の不足は深刻さを極め、従業員の高齢化やベテラン社員の転職などで人材不足がさらに加速する一。こうした中で、人事・総務や経理などの間接部門では人材が固定化し、業務効率化の足かせになることが少なくない。

また、経理業務には高い専門知識も必要になる。それだけに、誰でも“配属されれば仕事をこなせる”というわけにはいかない。担当者は、知識を蓄積しながら自分なりの効率的な仕事の進め方を編み出し、ある意味で「個別最適化」しているケースもある。こうした状況になると、経営者から従業員まで「経理のことはAさんに聞けば大丈夫」という空気感が生まれ、業務の「属人化」がさらに進むことになる。

そして、属人化した業務は他者の視点が入りにくい。第三者からのフィードバックが得られないために硬直化を起し、より一層、属人化に拍車をかける結果にもなる。そうすると、ミスや不正があっても放置されてしまう危険性も高まる。こうした状況を社内に残しては、後継者育成や異動による配属が難しくなるなど、業務改革を阻害する要因にもなるだろう。その防止には、知識の共有や標準化が1つの対処策となる。



属人化によって業務がブラックボックス化し、品質・効率低下につながる。休暇・退職などで業務がストップしてしまう危険も

属人化の解消には「標準化」と「可視化」が不可欠… 続きを読む